

現代社会の課題の 解決のために

代表取締役社長 千石 雅仁



授賞式に先立ち、主催者であります東京書籍
を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

【はじめに】

東京書籍の創立75周年を記念して創設し、今年で34回目を数える「東書教育賞」に、今回も全国各地の先生方から、100編を超える多くの論文をお寄せいただきました。

その中で、本日、小・中学校のそれぞれの部門で受賞される先生方に、心よりお祝いを申し上げます。

誠にありがとうございます。

【「主体的・対話的で深い学び」の目的】

現在、私どもは、来春からお使いいただく小学校の教科書について、教科書検定での修正作業を行っており、年度内には検定決定がされる予定でございます。今年は、小学校の先生方を中心に、新学習指導要領の下での指導のご準備も本格化する年であり、私どもも、これからデジタル教科書や教師用指導書といった、教材や資料の制作を進めてまいります。

新学習指導要領の最大のポイントは、「主体的・対話的で深い学び」であることは論を俟たないと思いますが、今回の応募論文全体を拝見いたしましても、「主体的」という点にクローズアップしたもの、「授業」に焦点を当てたもの

が多く見られました。

こうした点からは、先生方が新学習指導要領の趣旨を、しっかりと日々の授業に溶かし込んで、児童・生徒に「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために、日々研究をされていることが伝わってまいります。

私どもも、そうした先生方のご実践を支える教科書をご用意できたという自負がございますが、編集の過程で意識してまいりましたのは、「主体的・対話的で深い学び」は「手段」であり、「目的」ではないという点でございました。

教科書がサポートする、先生方の「主体的・対話的で深い学び」のご実践の先には、「現代社会の諸課題を解決する力」をもった「主権者」の育成という教育の目的があることを、常に意識しておかなければならないと考えております。

【「答え」のない課題の解決のために】

話は変わりますが、昨年は稀に見る、災害が多い一年でした。1月の草津白根山の噴火、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、記録的な夏の猛暑や多くの台風、9月の北海道胆振東部地震と、数多くの自然災害・異常気象に見舞われ、多くの尊い命も失われました。

東日本大震災で、日本全体の防災意識は高まりましたが、果たしてその意識は維持できているのでしょうか。昨年の自然災害や異常気象は、震災から8年を迎えようとする中で、私たちに、

改めて個人や家庭、自治体、国といったそれぞれのレベルでの災害への意識や対応策を見直すことを求めているといえるでしょう。

また、昨年の6月には、いわゆる「働き方改革関連法案」が、国会で可決・成立しました。この法案は、長時間労働の是正、多様な働き方の実現、公正な待遇の実現を柱としており、今年の4月から順次施行されます。

この他にも、昨年12月には、少子化の影響を受けた人手不足の深刻化への対応として、外国人労働者の受け入れを増やすための入管法の改正が行われました。

このように、現在の日本は国全体で、さまざまな課題を解決するための変革が進められようとしています。

こうした課題の解決には、明確な「答え」は存在しませんし、一朝一夕に解決できるものでもありません。過去の経験に学びながら、広い視野で新たな視点も取り入れつつ、国内外のさまざまな人々と協力しながら、粘り強い努力を続けていくことが求められます。

「主体的・対話的で深い学び」の背景には、こうした「答え」のない難しい課題を解決する力が求められている、ということを意識すべきであると考えております。

【おわりに】

東書教育賞には、毎年100編を超える応募をいただいておりますが、そのうちの約1割の先生方は、毎年のようにご応募をいただいている方々でもございます。今日、ここにお越しの先生方をはじめ、このように熱心に教育研究をされている先生方によって、日本の教育が支えられていることを心強く感じるとともに、そうした先生方に薫陶を受けた子どもたちであれば、日本が抱えているさまざまな課題を、主体的・対話的な取り組みによって、解決に導いてくれるものと期待しております。

東京書籍は、これからも先生方の教育実践と、課題解決力をもった子どもの育成に寄与できる、確かな商品・サービスを提供していく所存でございます。

最後になりましたが、ご多用の折に、最終審査をご担当いただきました審査委員の先生方、一次審査をご担当いただきました東京教育研究所主任研究員の先生方をはじめ、ご協力をいただきました多くの先生方に、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

受賞された先生方の、今後の益々のご活躍をご祈念申しあげ、挨拶といたします。

ありがとうございました。